

1. 科目名 (単位数)	音楽 (教育学部) (2 単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	原 久美子		
4. 授業形態	講義 演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	小学校教育において必要とされる、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得することを目指す。具体的には、小学校共通教材を中心とした弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくりを学ぶ。		
8. 学習目標	1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や器楽アンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 基礎的な音楽理論の理解ができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 楽典の練習問題とピアノの練習課題等を出します。 2. 楽典の筆記試験とピアノ演奏および弾き歌いの発表を実施します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 初等科音楽教育研究会編『最新 初等科音楽教育法[改訂版]小学校教員養成課程用』音楽之友社 【教材】 ※各自で必ず持参すること。 ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要) 【その他】 ソプラノリコーダーを使用する。持っていない学生は必ず第9回までに用意しておくこと。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 基礎的な音楽理論を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の40% 2. 実技発表 総合点の40% 3. 音楽理論の理解 総合点の20%		
12. 受講生へのメッセージ	ピアノや歌唱等の演奏技術は、授業や試験の直前に練習するだけでは上達しません。演奏には日々の取り組みが如実に表れます。時間をつくり、少しずつでも毎日必ず練習する習慣をつけましょう。反復練習は時に退屈を感じるかもしれませんが、地道な努力の積み重ねが上達に繋がっていきます。様々なレパートリーを作り、音楽の楽しさを感じられるようになりましょう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	鍵盤でドの位置を確認しておく。
		事後学習	各自の目標 (初級：音符と鍵盤の一体化、中級：楽譜に忠実に、上級：表現力のある演奏を目指して) を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第2回	ピアノ演奏および弾き歌い① 楽典① (音部記号・楽譜について)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。音楽理論プリント課題 (音部記号・楽譜について) に取り組む。
第3回	ピアノ演奏および弾き歌い② 楽典② (音名・変位記号)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。音楽理論プリント課題 (音名・変位記号) に取り組み、音楽における働きを理解する。
第4回	ピアノ演奏および弾き歌い③ 楽典③ (音符と休符)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。音楽理論プリント課題 (音符と休符) に取り組み、音楽における働きを理解する。
第5回	ピアノ演奏および弾き歌い④ 楽典④ (拍子とリズム)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。音楽理論プリント課題 (拍子とリズム) に取り組み、音楽における働きを理解する。

			る。
第6回	ピアノ演奏および弾き歌い⑤ 楽典⑤（強弱記号、簡単な楽語）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。音楽理論プリント課題（強弱記号、簡単な楽語）に取り組み、音楽における働きを理解する。
第7回	ピアノ演奏および弾き歌い⑥ 楽典⑥（反復記号、装飾音符）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。
第8回	中間のまとめ（ピアノ実技発表・楽典の筆記試験）	事前学習	中間のまとめに向けた各自の課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。
		事後学習	各自、期末試験に向けて目標を設定し、それに応じて決めた各自の課題曲を練習する。
第9回	ピアノ演奏および弾き歌い⑧ グループアンサンブル①（グループ決め、曲決め）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。グループアンサンブルの個人練習をする。
第10回	ピアノ演奏および弾き歌い⑨ グループアンサンブル②（合奏練習）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。グループアンサンブルの個人練習をする。
第11回	ピアノ演奏および弾き歌い⑩ グループアンサンブル③（合奏練習）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。グループアンサンブルの個人練習をする。
第12回	ピアノ演奏および弾き歌い⑪ グループアンサンブル④（合奏発表）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。
第13回	ピアノ演奏および弾き歌い⑫ 音楽づくり①	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。「音楽づくり」の指導における特徴を理解する。
第14回	ピアノ演奏および弾き歌い⑬ 音楽づくり②	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。「音楽づくり」の実践を復習する。
第15回	期末のまとめ（ピアノ弾き歌い実技発表）	事前学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。
		事後学習	弾き歌いを復習する。これまでに学習した音楽理論を復習し、活用できるようにする。